



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月7日  
東

上場会社名 株式会社ムロコーポレーション 上場取引所  
コード番号 7264 URL <http://www.muro.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 室 雅文  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長兼 (氏名) 山口 誉 総務人事部長 (TEL) 03-3703-4123  
四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	4,460	3.2	394	24.9	425	19.8	245	97.9
27年3月期第1四半期	4,321	10.3	315	85.9	355	40.3	124	△21.1

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 220百万円(106.3%) 27年3月期第1四半期 107百万円(△64.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	39.68	—
27年3月期第1四半期	20.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	18,122	11,534	63.6	1,864.55
27年3月期	17,867	11,468	64.2	1,853.84

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 11,534百万円 27年3月期 11,468百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,207	5.0	740	8.5	774	△13.3	503	6.6	76.34
通期	18,790	5.3	1,680	21.8	1,838	△2.8	1,210	8.5	195.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —  
 期中における重要な子会社の異動に関する注記

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	6,546,200株	27年3月期	6,546,200株
28年3月期1Q	359,884株	27年3月期	359,884株
28年3月期1Q	6,186,316株	27年3月期1Q	6,186,316株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、天候不順や港湾ストの影響で1～3月はマイナス成長だった米国が4～6月ではプラス成長に転じ、比較的堅調だったEUではギリシャの債務問題がデフォルト瀬戸際までもつれてようやく軟着陸したもののリスクは依然として残ったままとなりました。経済が好調だったことで国内の不満を押さえ込んできた中国は成長鈍化に伴い政情も不安定となり、中東やロシア周辺の地政学的リスクは解決の兆しが見えず、中国の失速とドルの独歩高により資源国や新興国の通貨が下落して経済も減速するなど、先行きの不透明感が増しました。

一方国内経済は、実質所得の下げ止まりと株高・原油安による消費マインドの改善、外国人観光客の増加に伴うインバウンド需要の増加、復興・オリンピック関連需要や好調な企業業績等に支えられ、力強さはないものの全体的には緩やかな回復基調の中で推移しました。

当社グループの主要取引先であります自動車業界の当第1四半期連結累計期間の状況は、国内販売台数は1,097千台（前年同期比5.5%減）、輸出台数は1,073千台（前年同期比1.4%減）、国内生産台数は2,170千台（前年同期比9.6%減）と全ての指標で減少となりました。一方、日系自動車メーカーの1～3月の海外生産台数は4,408千台（前年同期比2.1%増）となりましたが、国内4～6月と海外1～3月を合わせた日系自動車メーカーのグローバル生産台数は6,578千台（前年同期比2.1%減）と前四半期に続いての減少となりました。

このような状況の中、国内の減少を海外でカバーし、当社グループの連結売上高は4,460百万円（前年同期比3.2%増）となりました。損益につきましては、国内の改善効果とインドネシア拠点の赤字縮小により、営業利益は394百万円（前年同期比24.9%増）、インドネシアルピアの下落による為替差損が円安ドル高に伴う為替差益を相殺しましたことにより、経常利益は425百万円（前年同期比19.8%増）、前期発生いたしました役員退任に伴う特別損失が無くなったことにより、四半期純利益は245百万円（前年同期比97.9%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間における報告セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 車輦関連部品

当第1四半期連結累計期間におきましては、国内は生産台数の減少に伴い売上高が減少しましたが、円安ドル高効果によるドル建て売上の円換算の増加とインドネシア子会社の売上増加により、当事業の売上高は4,235百万円（前年同期比2.7%増）となりました。

#### ② その他

当第1四半期連結累計期間におきましては、国内ではトラック市場向け連結ねじ関連の新規受注と太陽光発電関連資材の販売が伸び、カナダ子会社ではカナダ国内およびブラジルでの連結ねじ関連の販売増により、その他の売上高は224百万円（前年同期比15.2%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の部)

総資産は、18,122百万円となり、前連結会計年度に比べ254百万円増加しました。主な増加は現金及び預金224百万円、電子記録債権83百万円、流動資産の繰延税金資産51百万円、投資有価証券43百万円であり、主な減少は有形固定資産141百万円であります。

#### (負債の部)

負債は、前連結会計年度に比べ187百万円増加し6,587百万円となりました。主な増加は未払金53百万円、流動負債のその他295百万円であり、主な減少は賞与引当金170百万円であります。

#### (純資産の部)

純資産は前連結会計年度に比べ66百万円増加し、11,534百万円となりました。主な増加は親会社株式に帰属する四半期純利益245百万円とその他の有価証券評価差額金の増加27百万円であり、主な減少は剰余金の配当金154百万円と為替換算調整勘定の減少52百万円によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は63.6%（前連結会計年度は64.2%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成27年5月14日に「平成27年3月期決算短信」で発表いたしました業績予想を変更しておりません。なお、予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因の変化によって大きく異なる結果となる可能性があります。今後修正の必要性が生じた場合は、適時かつ適切に開示してまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,858,032	4,082,534
受取手形及び売掛金	2,948,667	2,829,244
電子記録債権	1,027,292	1,111,031
商品及び製品	562,084	576,558
仕掛品	280,419	284,199
原材料及び貯蔵品	320,252	333,461
繰延税金資産	170,399	221,855
その他	271,796	309,828
流動資産合計	9,438,944	9,748,714
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,750,528	5,717,911
減価償却累計額	△3,639,418	△3,656,680
建物及び構築物(純額)	2,111,110	2,061,231
機械装置及び運搬具	11,141,034	11,158,896
減価償却累計額	△8,625,387	△8,727,560
機械装置及び運搬具(純額)	2,515,647	2,431,336
土地	1,760,330	1,729,799
建設仮勘定	89,148	114,714
その他	4,877,365	4,920,931
減価償却累計額	△4,551,025	△4,596,633
その他(純額)	326,340	324,298
有形固定資産合計	6,802,576	6,661,380
無形固定資産	151,672	144,703
投資その他の資産		
投資有価証券	1,058,992	1,102,500
長期貸付金	22,159	58,228
繰延税金資産	20,239	19,231
その他	378,398	392,401
貸倒引当金	△4,986	△4,956
投資その他の資産合計	1,474,802	1,567,405
固定資産合計	8,429,051	8,373,489
資産合計	17,867,996	18,122,204

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,582,614	2,605,078
短期借入金	300,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	465,608	448,419
未払金	687,120	740,813
未払法人税等	149,216	197,873
賞与引当金	337,472	167,098
役員賞与引当金	16,280	6,421
その他	498,042	793,549
流動負債合計	5,036,356	5,259,253
固定負債		
長期借入金	1,030,482	992,677
繰延税金負債	149,601	172,930
役員退職慰労引当金	23,128	19,415
退職給付に係る負債	75,095	62,343
その他	84,859	80,843
固定負債合計	1,363,167	1,328,210
負債合計	6,399,524	6,587,463
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,095,260	1,095,260
資本剰余金	904,125	904,125
利益剰余金	9,004,322	9,095,173
自己株式	△182,442	△182,442
株主資本合計	10,821,266	10,912,117
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	349,567	377,523
為替換算調整勘定	234,575	182,449
退職給付に係る調整累計額	63,062	62,650
その他の包括利益累計額合計	647,205	622,624
純資産合計	11,468,472	11,534,741
負債純資産合計	17,867,996	18,122,204

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	4,321,202	4,460,318
売上原価	3,462,261	3,520,413
売上総利益	858,941	939,904
販売費及び一般管理費	543,040	545,386
営業利益	315,900	394,518
営業外収益		
受取利息	574	1,220
受取配当金	5,749	5,091
為替差益	15,745	21,038
役員退職慰労引当金戻入額	12,424	—
その他	13,879	13,158
営業外収益合計	48,373	40,508
営業外費用		
支払利息	5,664	6,206
減価償却費	2,549	2,248
その他	795	1,026
営業外費用合計	9,009	9,481
経常利益	355,264	425,546
特別損失		
固定資産除却損	203	2,199
会員権評価損	2,000	—
役員退職特別功労金	200,000	—
特別損失合計	202,203	2,199
税金等調整前四半期純利益	153,060	423,346
法人税、住民税及び事業税	16,788	218,916
法人税等調整額	12,186	△41,077
法人税等合計	28,974	177,838
四半期純利益	124,085	245,508
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	124,085	245,508



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	124,085	245,508
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28,032	27,956
為替換算調整勘定	△45,079	△52,125
退職給付に係る調整額	42	△412
その他の包括利益合計	△17,004	△24,581
四半期包括利益	107,081	220,926
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	107,081	220,926
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	車両関連部品 事業				
売上高					
外部顧客への売上高	4,126,424	194,777	4,321,202	—	4,321,202
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,126,424	194,777	4,321,202	—	4,321,202
セグメント利益	433,354	21,812	455,166	△139,265	315,900

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連続ねじ締め機、ねじ連綴体及び柑橘類皮むき機等の製造販売の新規事業品等事業であります。

2. セグメント利益の調整額△139,265千円には、報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	車両関連部品 事業				
売上高					
外部顧客への売上高	4,235,983	224,335	4,460,318	—	4,460,318
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,235,983	224,335	4,460,318	—	4,460,318
セグメント利益	506,908	34,805	541,713	△147,195	394,518

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連続ねじ締め機、ねじ連綴体及び柑橘類皮むき機等の製造販売の新規事業品等事業であります。

2. セグメント利益の調整額△147,195千円には、報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。